

モニターレポート(4月報告)

【報告内容①】

寒暖の差が例年以上に激しいと思われる日々が続いていますが、河川敷の畑では、水仙、チューリップ、菜の花が咲いており、写真を撮っている人の姿も確認できました。この季節、土手沿いの道路を走るドライバーの目をしばらく楽しませてくれる事でしょう。

〈事務所からのコメント〉

今年の春は、気温が低いのか、桜の花が長く咲いていたように思います。

河川敷の畑で栽培されている水仙、チューリップ、菜の花は、とても美しい春の阿賀野川の一つの風景を形作っております。毎年のことながら、冬の寒い季節から暖かい日々への移り変わりを、色彩により感じる事ができる春の風景は、気持ち良く感じます。

【報告内容②】

本格的に春めいてきた感じですが、川岸の木々も淡い緑と化してきました。沢海地先の堤外地には、色とりどりの花が春を告げ、癒やしを感じながら、巡回いたしました。満願寺の床固めの所では、サクラマスの漁か、漁船らしきものが見受けられました。

〈事務所からのコメント〉

満願寺で見かけられたとおり、横越地区では、サクラマスの漁船が川の中に見えるのを見かけます。また、河川敷のチューリップがとてもきれいです。先日、小学校の子供たちが、授業の一環でチューリップの花摘みをしていました。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

4月12日の安全利用点検の時に、小学生による稚魚放流を初めて見ました。先生も子供たちもすごく元気で、説明も分かりやすく、有意義な授業だったと思います。

点検をして思ったことは、前の週の大雨でゴミがたくさんあがっていたと思いました。

〈事務所からのコメント〉

肌寒い時の安全利用点検へのご参加、ご苦労様でした。川には自然的な場所と公園的な場所があり、それぞれを利用する方々の安全を確保するために、今回の点検以外にもいろいろな方が巡視しています。

大和水辺の楽校で放流されたサケの稚魚は、小学生が一生懸命に育てたものです。無事に阿賀野川に戻ってほしいと思います。このような活動を通して、河川に関心を持ってもらえれば幸いです。

【報告内容④】

4月8日午前 早出川左岸から新潟方面へ。雨と雪どけ水で水位が上がっている。金屋の阿賀野川との合流地点では、阿賀野川の濁った水の勢いを感じた。阿賀野川左岸も水位が上がり、普段水が見られないところも水に浸かっていた。沢海の床固めも白波が立ち、風の強さを感じた。

午後3時過ぎ、咲花温泉に用があり、阿賀野川を見たときは、川の流れは早いと思いましたが、濁りは全く感じられませんでした。川の成立により、違いが出るのでしょうか。

〈事務所からのコメント〉

3月から5月まで、阿賀野川は雪どけ水によって水量が普段より多くなっているため、白く濁っています。指摘されている濁りの違いですが、濁りはどちらも同じです。上流は河床の土砂が大きめの石のため透明に見え、下流は土砂が細くなるため濁って見えるのです。

※複数のモニター報告を要約してあります。